

会 議 録

会議の名称		令和6年度第2回桜学園コミュニティ・スクール協議会		
開催日時		令和6年7月16日（火） 開会 9:30 閉会11:30		
開催場所		つくば市立栄小学校家庭科室		
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	野村光良、中埜貴元、五頭泰誠、布施 拓、酒井政彦 後藤美千代、橋本幸雄、久松正樹、吉田 博、白砂統己 細田 潤、片岡 均、中泉正市、樋口弓子、宮本健次 宮本孝礼、飯岡達郎 桜中学校：校長 小林 力 栄小学校：校長 三輪俊一 九重小学校：校長 小林真理子 栗原小学校：校長 関 美智子		
	その他	桜中学校：教頭 先崎敬広 栄小学校：教頭 飯塚真由美 九重小学校：教頭 沼野 武		
	事務局	生涯学習推進課課長：澤頭由紀子 生涯学習推進課参事：山口健次 社会教育主事：村上和宏 地域連携教育指導員：酒井和宏		
公開・非公開の別		<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由		つくば市情報公開条例第5条第1号（個人情報）に該当する情報を取り扱うため		
議題		1 学園の教育活動や地域の活動事例の紹介 2 熟議「夢をもち、自立して社会に貢献できる児童・生徒の育成～地域と学校が共につくる教育課程の実現～」 3 その他		
会議録署名人		確定年月日		年 月 日
会議次第	1 開会 2 挨拶（会長、学園長） 3 授業参観 4 前回の議事の確認 5 協議 (1) 学園の教育活動や地域の活動事例の紹介 (2) 熟議「夢をもち、自立して社会に貢献できる児童・生徒の育成～地域と学校が共につくる教育課程の実現～」 (3) その他 ・コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について 6 閉会			

<審議内容>

1 開会

久松副会長：ただ今から、令和6年度 第2回 桜学園コミュニティ・スクール協議会を開会します。

なお、つくば市コミュニティ・スクール協議会に関する規則第6条第2項では、「会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。」としております。本日の出席委員数は21名であることから、会議が成立していることをお知らせいたします。

はじめに、会議を進行するに当たり書記を決めたいと思います。栄小学校 教頭 飯塚先生 をお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

参加委員：お願いします。

飯塚教頭：よろしくお願いいいたします。

久松副会長：お引き受けくださりありがとうございます。よろしくお願いいいたします。

2 挨拶

久松副会長：続きまして、会長挨拶、五頭会長よろしくお願いいいたします。

会長挨拶

久松副会長：学園長挨拶お願いいいたします。

学園長挨拶

久松副会長：この後、栄小学校の様子を20分程度御参観いただき、桜学園の教育活動を実際に見ていただきたいと思います。人数が多いため、2グループに分かれてご案内をお願いいたします。栄小学校三輪校長先生、飯塚教頭先生よろしくお願いいいたします。

3 授業参観

4 前回の議事の確認

五頭会長：ここからの進行は会長の五頭が進行します。本日は、桜学園の第2回コミュニティ・スクール協議会の熟議等に入る前に、まずは第1回の会議内容について、要点を踏まえて振り返りをしたいと思います。前回の要点をまとめますと

- ① 委員の自己紹介から会長、副会長の選出
- ② 学校ランドデザイン説明と教育活動紹介
- ③ 委員からの学校教育活動への質疑と応答

④ 熟議「桜学園として、地域とともに児童生徒に身に付け付けさせたい力は」などの話し合いを深めました。「詳しい内容は、配布されている会議録で御確認ください」また、市のホームページにも掲載されますので必要に応じて御確認ください。

5 協議

(1) 学園の教育活動や地域の活動事例の紹介

五頭会長：次に、桜学園の教育活動について情報交換をしたいと思います。栄小学校、九重小学校、栗原小学校、桜中学校の順で各校2分程度でお願いします。

栄小学校（三輪校長）：今年度も環境学習に力を入れています。6年生は、環境科学センターの出前授業を行い、プランクトンについての学習をしました。4年生は、桜川の稚魚放流を予定していたのですが、暑さのため延期にしました。先ほど見ていただきましたが、6年生のフロアに空き缶があったと思います。昨年度からの6年生の環境教育の取り組みです。昨年度は、得た収益金約1万円を北陸の震災で被害を受けた方たちに寄付させていただきました。今年度は、全校に空き缶回収を広げていく予定です。

九重小学校（小林校長）：全学年コロナ禍の影響を受けることなく校外学習を終えました。6年生は東京・鎌倉方面、5年生も無事終わることができました。学習面においては、発表の年ということもあり、要請訪問の準備を進めております。6人の先生方の授業公開ということで、指導主事と一緒に伴走型での授業構築を進めております。地域と共にある学校としましては、着衣水泳とAED講習会、お薬教室等を本校の保護者やPTA会長、学校薬剤師の協力を得て実施、今後は、おやじの会の皆様の活動による廃品回収を予定しております。

栗原小学校（関校長）：本校からは、学校教育活動主なもの3点、地域の皆様に御協力をいただいた4点について御報告させていただきます。まず、1つ目として、前回のコミュニティ・スクールの翌日、元PTA会長である久保田様をお迎えして、救急救命講習を行いました。2つ目として、6月26日と27日の2日間に分けて「いじめゼロフォーラム」を行いました。3つ目は、校外学習として、7月5日に第2学年がアクアワールドへ行きました。7月11日、12日に第6学年が鎌倉・東京方面に行ってきました。地域の皆様に御協力をいただいた点につきましては、6月18日に民生委員さんが来校し情報交換を行いました。また、先ほど栄小学校からもお話がありましたが、本校は、7月3日桜川放流の代わりにクイズを通して、桜川の環境についての学習を深めました。それから、毎週火曜日の放課後に地域の皆様が7～8名来校し、希望者を対象にはやぶさ教室と称して算数の補充学習を行っています。もう一つとして、読み聞かせボランティアの皆様に子どもたちが毎月お世話になっています。

桜中学校（小林校長）：本年度から職場体験学習の企画をしています。今、予約を取って、実施するというので進めています。また、7年生、8年生は、校外学習の計画を立てています。同時に来年度、再来年度の修学旅行に向けての企画などにも繋がってくれればと考えています。一方で、本校は、子どもに任せることを大切にしています。体育祭についても同様に一日開催にするか、半日開催にするとか、子どもたちの企画で進めています。「きまり」についても、学校で決めた「きまり」を守らせるのではなく、ルールを自分たちで決めるということに取り組んでいます。細かなことですが、体育祭で上着を短パンに入れる、入れない等まで自分たちで決めています。これらの活動がよりよい桜学園の児童生徒の育成に繋がってくれればと考えています。

五頭会長：次に地域、保護者の皆様よりお伝えしたい取組等がございましたら2分程度でご報告お願いいたします。

上の室地区：本年度は祭礼を実施する予定です。また、出店をやることになりました。子ども会、消防団、サッカーチームで地域一丸となって子どもたちに思い出を作ってもらおうと取り組んでいます。

金田台の生態系を守る会：環境研の先生を招いて、イベント開催予定です。ホームページに掲載されています。9月、10月、11月に行います。

栗原地区：新しい学校が準備されつつあります。こういったことは、なかなかないことです。九重小学校や栄小学校も関係がないというのではなく、学区全体で相談することもありますので御承知ください。令和8年度から開校です。

(2) 熟議 「夢をもち、自立して社会に貢献できる児童・生徒の育成」

五頭会長：これより、熟議に入りますが、熟議を進行するに当たり、ファシリテーターを栄小学校長三輪俊一先生にお願いしたいと思います。皆さんよろしいでしょうか。では、三輪校長先生よろしくお願いたします。

三輪校長：第1回熟議内容の確認としまして、熟議テーマ「桜学園として、地域とともに児童生徒に身に付けさせたい力」について話し合いました。その中で桜学園の共通の課題として出てきたのは、

- ・挨拶ができない児童生徒が多い
- ・地域のことを知らない児童生徒が多い

等です。今回熟議のテーマを決めるにあたって、そもそも桜学園が目指す児童生徒の姿について考えてみました。学園ではランドデザインを作っています。その中で、学園目標として掲げられていますのは、「夢をもち、自立して社会に貢献できる児童生徒の育成」です。この目標の「夢をもち、自立して」の部分は、「自分を知る」ことに繋がっていくのかな、「社会に貢献」の部分は、「地域を知る、地域を守る」と捉えられます。今の学園の目標から大切なことは何

だろうと考えてみますと、児童生徒にとって大切な学びとは、「キャリア教育」、「郷土教育（自然・歴史・文化）」、「防災教育」ではないかと考えました。しかし、異動がある教員だけの指導は難しい・・・ため、桜学園としてコミュニティ・スクールにお願いしたい部分としまして、『地域と学校が共につくる教育課程の実現』を考えました。そして、第2回熟議テーマを「夢をもち、自立して社会に貢献できる児童生徒の育成～地域と学校が共につくる教育課程の実現～」に向けて今日は、皆様方に検討していただきたいと思いました。具体的な熟議の内容としましては、桜学園として、キャリア教育・郷土教育・防災教育を行うために、地域と共にどんなことが行えるかを話し合っていたきたいと思えます。机上には、こちらのシートが載せられてありますが、こちらのシートの①～③については、各学校で課題となっていること、現在行っていること等が入っております。なので、本日は、④の部分「学校で求めている部分」であり課題となっている部分「課題解決の手立ては？」について熟議をお願いいたします。時間は40分程度設けられておりますので、11時10分をめどに話し合いをしていただければと思います。それでは、皆様よろしくお願ひいたします。

グループでの熟議（40分間）

三輪校長：時間なので、各学校からでてきた内容を御発表いただければと思います。

栄小学校（久松委員）：栄小学校の一番の大きな特徴は、金田台があるということです。やはり、地元の自然を知るということは、大切なことであるということが出ました。取りかかりとしては、実際に現地に行くことはできないので、出前授業かなと話しました。栄小には、職員の身内に専門的な方がいるので、来ていただくのもよいのではないかと。また、防災教育の方では、栄小学校と栗原小学校は、浸水地区になりますので、安全教育も含めて学習していく必要があるのではないかと話しました。それから、霞堤の話も出ました。桜川の決壊を防ぐために作られています。キャリア教育の方でも地元の弁護士の方に前授業をしていただければよいのではないかと話も出ました。結論的には、地元のことをもっと調べていく必要があるのではないかとりました。

九重小学校（吉田委員）：先生方の「今後どうしたらよいの」という悩みを受けて、我々の方で話をさせていただきました。「地域の状況を知る」というのは、地域に関する昔や過去の遊びの話を知りたい、体験をしたいという依頼が多いみたいです。その他にもキャリア教育やモノづくりが出てきました。しかし、我々コミュニティ・スクールの委員が全部教えられるわけではありませぬので、最終的に行き着くのは、有識者や団体をお願いしなくてはならないかな。そこに行き着くのに、学校の先生が調べて、代表を聞いて、メールを送ってとなる

と時間的にロスが多いということで、その間に我々コミュニティ・スクールの委員が入って、いや、九重だけではなく、桜学園として、栄や栗原の皆さんも含めた全員で、いろいろな人間関係を紹介してもらおうと、そして、そこから我々が、区会に頼むとか、区会から有識者を紹介してもらおうとか、地域の老人会等では相談会的な役割もあるので、そこに繋げて行って、そこから、どうするのかはじっくり煮詰めて行って考えればよいのではないかと考えています。ものづくりに関しても、お店に行ったら案内の人がいない場合は、保護者に協力してもらおうとか、地域の住民でもよいだろうし、そういった関係者の方に依頼をしなくてはならないのが、現実的なところなのかなと思います。米作りにしても、農家の方または、JAに話をしてもらおうのがよいかな。また、政治に関しては、つくば市の議会に係る方にどんどんお願いして、子どもたちに政治の話をしていただくのが一番いいのかなと思いました。郷土行政に関しましても、地域の有識者の方でも年配の方で、自分の育った地域、昔はこうだったよと、語り部ではないですが、話したい方もいると思います。そういった方を探してもらい、お願いするのが一番ではないかと思います。防災に関しては、子ども会の方で通学路を実際に歩きたいとの話もあるので、お願いしたいかなと思います。

いずれにしても、単体の学区だけで取り組むのではなく桜学園で協力していきましょう。結構大変ですけど、何かあったら、皆さんで協力していただくということでよろしく願いいたします。

栗原小学校（飯岡委員）：すべての地域の方の中からキャリア教育であったり、郷土教育であったり、歴史・文化であったりと知っている方を探すことよりも、栗原小学校から選出されている3人のコミュニティ・スクールの委員に聞くことで、地域のことがすべて分かります。あと20年ぐらいは元気でいていただこうと思います。「夢をもち自立して」の部分に役立つと思います。実は栗原小学校は150年を迎えます。校長先生にも約束していただいたのですが、来年のつくばスタイル科で歴史をまとめた本とかを子どもたちの学習の中に組み込んでもらって、冊子を作っていただきたいと思っています。残念ながら、150周年の後の令和8年には、新しくできる小学校にほとんどの子どもたちが行ってしまい、栗原小学校には、つくば市内の様々な場所から子どもたちが学校にくることになっているので、ある意味分離校のようになってしまいます。やっぱり、育った栗原に敬意をもっていただきたい。子どもたちが調べていくと、子どもたちは誰に聞けばいいのですかととなります。そこで、地域の人材を活用していければという意見が出ました。

桜中学校（布施委員）：桜中学校では、まず、防災教育のところを軸に話を始めます。防災教育については、こちらには、国土地理院の中埜さんもいらっしゃるの、地理から座学で学んでいきたいと思います。やはり中学生くらいになると座学ではなく、手や足を動かしていかないと取り組んでもらえないのではないかとということで、エリア学習みたいな防災キャンプなど体を使って覚えてもらうなどの話をしました。その中で、防災について学べれば、この場

所が危ない、逆に安全な場所もわかる。安全な場所には歴史や文化が発展する場所なので、防災を学ぶと自然と郷土教育にもなってくるのではないか、そこがワンセットになるようにするプログラムを作成する必要があるということまで話がまとまりました。キャリア教育については、OB、OG、保護者をお願いすれば自然と解決することですが、なんでできないかというデータベースがない。それはこれまで議論されていたと思うのですが、データベースをつくるということが急がれるのではないかとということでもとまりました。

まとめ

三輪校長：ありがとうございました。では、大きく3つの点について話し合ったのですが、あとは、どこか話をしぼらないとまとまらないということが分かりましたので、今回は、今回3つに分けましたけれども、どこかに焦点をしぼりながらやっているとより深まっていくのかなと感じました。最後、桜中さんの方から出ましたけれども防災の部分が他の歴史とか学びに繋がっていくなどというあたりから広めていくのも一つの手かなと思いました。そのあたりは3回目を担当する学校さんをお願いしていきたいと思いました。御協力いただきましてありがとうございました。

五頭会長：三輪校長先生、ありがとうございました。

(3) その他

五頭会長：最後に御出席のみなさんから何かありますでしょうか？次回の開催予定日等について、栄小学校教頭飯塚先生、よろしく願いいたします。

飯塚教頭：本年度この後のコミュニティ・スクール協議会について御連絡します。第3回は、令和6年11月27日(水)9:30～九重小学校で、第4回は、令和7年2月10日(月)9:30～栗原小学校で予定しています。詳細については、追ってご連絡いたします。

6 閉会

五頭会長：本日の「協議」の内容は、以上になります。

なお、本日の会議の様子を、つくば市教育委員会ホームページにて写真を掲載させていただきたいと思えます。委員の皆様、よろしいでしょうか。

本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございました。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

令和6年度第2回桜学園コミュニティ・スクール協議会

日時：令和6年7月16日(火)

9：30～11：30

場所：栄小学校 家庭科室

次 第

1 開 会

2 挨拶

3 授業参観

4 前回の議事の確認

5 協 議

(1) 学園の教育活動や地域の活動事例の紹介

(2) 熟 議

テーマ「夢をもち、自立して社会に貢献できる児童・生徒の育成
～地域と学校が共につくる教育課程の実現～」

(3) その他

・コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について

6 閉 会

令和6年度 桜学園コミュニティ・スクール協議会委員名簿

No.	委嘱の区分	氏名	所属・役職
1	(1) 地域住民	野村 光良	桜中後援会長
2	(1) 地域住民	中埜 貴元	国土地理院勤務
3	(1) 地域住民	水谷 浩子	元学校評議員
4	児童・生徒の保護者	五頭 泰誠	元PTA会長
5	児童・生徒の保護者	布施 拓	PTA会長
6	(5) 学校長	小林 力	桜中学校長
7	(4) 学識経験者	酒井 政彦	主任児童員 R5栄小コーディネーター 元栄小学校長
8	(1) 地域住民	後藤美千代	金田台の生態系を守る会代表
9	(1) 地域住民	橋本 幸雄	栄幼稚園園長
10	(4) 学識経験者	久松 正樹	元栄小学校長
11	(5) 学校長	三輪 俊一	栄小学校長
12	(3) 地域学校協働活動推進員	吉田 博	PTA会長
13	(1) 地域住民	白砂 統己	おやじの会代表
14	(1) 地域住民	細田 潤	元学校評議員
15	(1) 地域住民	片岡 均	元学校評議員
16	(1) 地域住民	石井かおる	元PTA会長
17	(5) 学校長	小林真理子	九重小学校長
18	(1) 地域住民	中泉 正市	元PTA会長
19	(1) 地域住民	天貝 貢	元学校評議員
20	(1) 地域住民	樋口 弓子	元学校評議員
21	(1) 地域住民	宮本 健次	元学校評議員
22	(1) 地域住民	宮本 孝礼	元学校評議員
23	(1) 地域住民	飯岡 達郎	PTA会長
24	(5) 学校長	関 美智子	栗原小学校長

会 議 録

会議の名称		令和6年度第1回桜学園コミュニティ・スクール協議会		
開催日時		令和6年6月6日（木） 開会 9:30 閉会11:30		
開催場所		つくば市立桜中学校会議室		
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	野村光良、水谷浩子、布施 拓、酒井政彦、後藤美千代 橋本幸雄、久松正樹、吉田 博、白砂統己、石井かおる 中泉正市、天貝 貢、樋口弓子、宮本健次 宮本孝礼、飯岡達郎 桜中学校：校長 小林 力 栄小学校：校長 三輪俊一 九重小学校：校長 小林真理子 栗原小学校：校長 関美智子		
	その他			
	事務局	教育局次長：久保田靖彦 生涯学習推進課参事：山口健次 生涯学習推進課課長補佐：瓜阪恵理名 生涯学習推進課係長：飯島 遊 社会教育主事：村上和宏 生涯学習推進課地域連携教育指導員：酒井和宏		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 非公開	<input type="checkbox"/> 一部公開
傍聴者数		0人		
非公開の場合はその理由				
議題		1 学校運営の基本方針について 2 熟議「桜学園として、地域とともに児童生徒に身に付けさせたい力は」 3 その他		
会議録署名人		確定年月日		年 月 日
会議次第	1 開会 2 任命書交付 3 教育長挨拶 4 説明事項 つくば市のコミュニティ・スクールについて 5 会長・副会長の選出 6 協議 (1) 学校運営の基本方針について (2) 熟議「桜学園として、地域とともに児童生徒に身に付けさせたい力は」 (3) その他 7 閉会			

<審議内容>

1 開会

事務局：ただ今から、令和6年度 第1回桜学園コミュニティ・スクール協議会を開会いたします。

はじめに、つくば市コミュニティ・スクール協議会に関する規則第6条第2項では、「会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。」としております。本日の出席委員数は20名であることから、会議が成立していることをお知らせいたします。

会議を進行するに当たり書記を決めたいと思います。事務局案として桜中学校先崎教頭先生をお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

参加委員：お願いします。

事務局：お引き受けくださりありがとうございます。よろしくお願いいたします。

2 任命書交付

事務局：始めに「任命書」の交付をいたします。任命書の交付は五十音順で代表者1名とさせていただきます。

(「任命書」を飯岡達郎委員に交付)

続きまして、地域学校協働活動推進員の御紹介と委嘱状の交付を行わせていただきます。

桜学園で、学校と地域をつなぐパイプ役となる地域学校協働活動推進員を協議した際、地域学校協働活動の推進に熱意と識見を有する者として酒井政彦委員、野村光良委員、樋口弓子委員、吉田 博委員を桜学園から御推薦いただきました。地域学校協働活動推進員設置要項第3条に該当するものとして、「地域学校協働活動推進員」を委嘱させていただきたいと思います。

(「委嘱状」を酒井政彦委員、野村光良委員、樋口弓子委員、吉田 博委員に交付)

ありがとうございました。お席にお戻りください。

なお、この会議において皆様は、非常勤特別職として任命され任期は1年となります。また、守秘義務等の責務がございます。御留意ください。

皆様の任命書については、机の上にございますので御確認ください。委員の皆様のご自己紹介に関しては、この後お時間を取らせていただきます。御了承ください。

3 教育長挨拶

事務局：続きまして、つくば市教育長森田から挨拶を預かっておりますので、教育局(次長)久保田靖彦が代読いたします。

事務局：森田教育長の挨拶を代読させていただきます。

皆さんこんにちは。教育長の森田でございます。

本日はお忙しい中、第1回桜学園コミュニティ・スクール協議会に参加していただきありがとうございます。また、委員の皆様におかれましては当協議会の委員を快くお引き受け頂き、深く御礼申し上げます。

本年度、桜学園においては、法に基づいた協議会を設置し、「コミュニティ・スクール」が本格始動します。昨年度1年間の推進会議を通じて、目指す児童・生徒の姿や、学校と地域が子どもたちのためにどのような協力ができるかを、時間をかけて話し合っていたいただいたことと思いますが、その話し合いを基に、より具体的な議論を深めていただければと思います。

コミュニティ・スクール協議会の設置は、ゴールではなく、スタートラインであり、また、すぐ目に見える成果が出るとも限りません。しかし、委員の皆様のを合わせ、未来を担う子どもたちのために何ができるのかを考えていくことで、必ず、それぞれの学校の実情にふさわしい地域との連携の在り方が生まれてくるものと感じております。

参考として、つくば市のモデル地域として、令和4年度から先行的に「コミュニティ・スクール」を導入した吾妻学園の取組を紹介させていただきます。吾妻学園では、昨年度、地域学校協働活動推進員のコーディネートにより、「ようこそ先輩」と題する卒業生や地域住民による授業を、キャリア教育の一環として実施しました。既存の枠組みを活用した地域学校協働活動の事例として、参考にしていただければと思います。

複雑化・多様化する社会の中で、子どもたちがこれからの時代を生き抜く力を育成するためには、つくば市教育大綱の理念にもあるように、保護者・学校・地域・行政が協力し、社会全体でこどもの育ちの場を支えることが必要不可欠となります。委員の皆様におかれましては、つくば市の教育の充実に向け、今後ともどうぞ御協力をよろしくお願いいたします。

4 説明事項

事務局：社会教育主事の村上より「つくば市コミュニティ・スクールについてご説明させていただきます。

事務局(村上社会教育主事)：社会教育主事 村上と申します。よろしく願いいたします。わたくしのほうからは、

- 1 つくば市の教育が目指すもの
- 2 コミュニティ・スクールとは
- 3 つくば市で進めるコミュニティ・スクールとは

について御説明いたします。

まず、つくば市の教育が目指すものについて御説明いたします

配付されている教育大綱の冊子を手にとっていただき、1ページをお開きください。つくば市教育大綱では、一人ひとりが幸せな人生を送ることを最上位の目標に設定しています。次に7ページをお開きください。いま必要なことの中に、保護者・学校・地域・行政が協力し、社会全体で子どもたちの育ちの場を支えることを位置づけています。

教育大綱に基づいたコミュニティ・スクールの導入をすることにより、今後地域の多くの人々が学校づくりに参画し、地域と一体となり、地域とともにある学校づくりを進めて行きたいと考えています。つくば市の学校教育を所管している学び推進課からは、「学び推進方針」を学校に示しています。みんなが幸せ

を実感できる学園・学校・幼稚園にするために、今年度特に意識していることは、子どもたちの「自己決定」ができる環境を整えていくことです。また、学び推進課では「伴走から自走」というスローガンのもと、各学校が生き生きと自走していけるように日々関わっています。

続いて、コミュニティ・スクールについて御説明いたします。具体的にコミュニティ・スクールとはどのようなものかをご説明いたします。コミュニティ・スクールとは、一言で言いますと「地域とともに子どもを育む学校」と言えます。コミュニティ・スクールのコミュニティは地域住民・保護者・学校であり、それらが、力を合わせて子どもたちの成長を支えていく学校のことをコミュニティ・スクールと呼んでいます。踏み込んだ話をさせていただきますと、つくば市ではコミュニティ・スクール協議会という話合いの場を設置している学校をコミュニティ・スクールと呼んでいます。

桜学園は今年度、協議会と言って、法に位置付けられたコミュニティ・スクールの本格設置となります。

スライドでお示ししているのが、コミュニティ・スクール協議会の様子です。右上、校長先生が学校運営の基本方針、いわゆるグランドデザインの説明をしています。中段、下段の写真、熟議を行っています。

さて、それではなぜコミュニティ・スクールが必要なのでしょう。現在、学校では「いじめ、不登校」「教員の業務量増加」、地域では「地域社会における支え合いやつながりの希薄化」など、様々な課題が挙げられます。また、新学習指導要領では、「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という理念を学校と社会が共有することが大切であると書かれています。

これらのことから、学校と地域の課題を解決するために、学校と社会が目標を共有したり、地域と学校が連携して幅広い視点で子どもたちの成長を支えたりする必要があるのです。

それでは、具体的につくば市で進めるコミュニティ・スクールについて御説明いたします。つくば市コミュニティ・スクールには、スライドでお示ししている4つの機能があります。

①の機能として、学校運営の基本方針についての承認があります。

学校運営協議会では第1回目に学園長・学校長が学校運営の基本方針、いわゆるグランドデザインの説明を行います。その基本方針に対して委員の皆様から承認を行うことからコミュニティ・スクール協議会がスタートしていきます。ただし、学校運営の責任者は校長であり、コミュニティ・スクール協議会が校長の代わりに学校運営を決定・実施するものではありません。

②の機能としては、学校運営に意見を述べるということです。これから始まるコミュニティ・スクール協議会では、皆さんの様々な視点から御意見を頂ければと思っています。

③の機能として教職員の任用について意見を述べることができます。教職員の任用とは、学校とコミュニティ・スクール協議会が実現しようとする教育目標等に適った人材を求めることです。例えば、学年主任ができるリーダー性のある教員や外国語活動に力を入れたいので、授業力のある教員を求める

ことなどです。

④の機能として、学校評価があります。委員の皆様と学校の課題について共有したり学校評価について話し合ったりということをしていきます。

先ほども申し上げましたとおり、桜学園は今年度協議会という法に基づいた本格設置となります。

委員の立場としても特別職の地方公務員となり、スライドにお示ししているような責任のある立場となっていきますので、御協力をお願いいたします。

先ほど、「熟議」という言葉が出てきましたので、「熟議」について御説明いたします。「熟議」とは、どのような子どもを育てたいのか、何を実現したいのか、という目標・ビジョンを共有するために、「熟慮」と「議論」を重ねることを言います。ひとことで言うと「よくよく、話し合う」ということです。

熟議では、テーマに対して、委員それぞれの考えを付箋に記し、模造紙に貼り付けていくというスタイルが多いです。熟議に参加する委員の方が、必ず意見を会議に反映させてほしいという意図のもとこのようなスタイルをとっています。

スライドでお示ししているのは、コミュニティ・スクールを自転車に例えたイメージ図です。自転車で例えるならば、協議会で話し合った内容が前輪及びハンドルとなり、「育てたい児童・生徒像」やコミュニティ・スクールの在り方などの方向性を決める役割を担っています。そして後輪には、地域学校協働活動が位置付けられます。地域学校協働活動とは、地域と学校が連携・協働して行う様々な活動のことです。コミュニティ・スクールでは、前輪の協議会で方向性が決まったものに対して、それを後押しするように地域と学校が連携して様々な活動を行っていきます。この地域と学校との連携をスムーズに行うのが、地域学校協働活動推進員の役割です。学校の教育活動に対して地域学校協働活動を進めていくことで、この自転車がスムーズに進むようになります。自転車がスムーズに進むようになるときには、今まで以上に学校と地域が連携し、学校を核とした地域づくりにつながっていくはずです。

地域学校協働活動の例を一つ御紹介いたします。昨年度、吾妻学園では、「ようこそ先輩」という学習において、ゲストティーチャーを地域学校協働活動推進員の方がコーディネートした授業を行いました。このように、地域学校協働活動が活発になると、地域の方々の関わりが、児童生徒の幅広い視野をもつことにつながります。また、地域の方々と関わることで、学校で学んでいることが社会でどのように役立っているかを理解することにもつながります。これまでは先生が中心となってコーディネートしていたのが、今後は地域の方の力も借りて成立するようにしていきたいと考えています。新しいことをやらなくてもよいのです。運営協議会の中で、何が必要か、何をしていくべきかについて地域と学校が熟議し、ともに作り上げていくこと大切です。既存のものをベースに、まずは、「学校理解」「地域理解」から進めていければと思います。

今日お伝えしたいことをまとめます。

①つくば市教育大綱では、一人ひとりが幸せな人生を最上位の目標としていること

- ②コミュニティ・スクールは地域とともに子どもを育てる仕組みであること
 - ③つくば市のコミュニティ・スクールには4つの機能・役割があること
 - ④熟議を通して皆が共有することが大切であるということ
 - ⑤地域と学校が連携した様々な活動、地域学校協働活動が始まること
- です。

つくばの未来の創り手となる子どもたちのために御協力をよろしくお願いたします。以上になります。

事務局：ただ今の件につきまして、意見や質問はありますか。

5 会長・副会長の選出

事務局：協議の前に、会長と副会長の選出を行いたいと思います。選出につきましては、つくば市コミュニティ・スクール協議会に関する規則の第5条第2項に「会長及び副会長は、委員の互選により定める。」とあります。

昨年度、座長・副座長として活動していただいた五頭泰誠委員と久松正樹委員は引き続き協議会委員になっていただいているので会長を五頭委員に、副会長を久松委員にお願いしたいと提案させていただきたいと思います。皆様いかがでしょうか。

参加委員：（拍手）

6 協議

(1) 学校運営の基本方針について

久松副会長：それでは、各学校運営の基本方針、いわゆるグランドデザインの説明及びグランドデザインを受けての特色ある教育活動について、各学校より御説明をお願いします。

桜学園長(小林校長)：学園グランドデザイン(学園要覧)の説明

本学園は、知徳体という観点から、学ぶ・人と関わる・心身を鍛えるといった力を育てていきたいと考えています。桜学園では、昨年度から研究指定を受けていて、「自ら学ぶ意欲をもち、考えを深め合う児童生徒の育成」というテーマで、本年度11月に研究発表会を行うことになっています。コミュニティ・スクールの皆様にも時間の都合が付きましたら、生徒の学びの様子、児童の学びの様子を御覧いただけたらと思います。大人は「夢をもち」と簡単に言いますが、今の生徒は夢について語る機会がなかなかない。現実的な話をすると、高校を選択する時にも「こんな風になりたいから、この高校に行きたい」という生徒はあまり多くなく、「ここでいいや」とか「親がここでいいんじゃないと言ったから」とかという生徒も見られます。3小と1中がそれぞれの可能性を広げられるような教育活動を進められるように考えています。

栄小学校(三輪校長)：栄小学校グランドデザインの説明

変化も激しく、価値観も多様化している社会なので、子どもたちが生き抜いていくためには、一人でできることには限界があります。多様な他者と協働する力や状況に応じて自ら判断する力が必要だと考え、学校目標に「認め合い、

学び合い、自分で考え行動する児童の育成」を挙げています。

また、今年度の組織目標としては、子どもたちの生活の基盤となる学校が誰にとっても楽しい居場所になることや学校生活の大半を占める学習活動が子どもたちにとって価値あるものになるようにということで「主体的・対話的で深い学びを実現する授業の創造」と「誰もが楽しいと感じられる居場所づくり・絆づくり」を設定し、全職員で取り組んでいます。重点となる項目として7項目挙げているのが特に力を入れているものとしています。1つ目は、「確かな学力を育む教育の推進」を挙げ、さまざまな体験活動や出前授業の実施、教科担任制の導入など多様な学びの機会を提供することで、児童の力を最大限発揮し、伸ばしていけるような授業に努めています。2つ目は、「豊かな心を育む教育の推進」を挙げ、児童が自ら企画する学校行事の実施、先日運動会を実施しましたが、実行委員を立ち上げ、子どもたちがスローガンを立てたり、進行したりして実際に行いました。また、日常生活の諸問題を児童自ら解決しようとするということで、市の方でもルールメイキングを進めているが、そちらを進めながら自治的能力の育成し、夢と感動のある集団づくりに向けて取り組んでいます。3つ目は、「信頼と活力のある学校づくり」にむけて、地域の皆様に本校の取組を知っていただくために学校だよりやHPによる積極的な情報の配信と本校で多くなっている若手教員の指導力の向上に向けた校内研修の充実に力を入れています。

九重小学校（小林校長）：九重小学校グランドデザインの説明

「目指す児童像」は「このえ」の頭文字を使い、合い言葉として常に児童が意識し、振り返ることができるようにしています。「こころやさしく友達に」「こころをこめて何事も」「のびのびチャレンジ」「えがおであいさつ」として始業式や終業式などで話すようになっていて、中にはもう言えるようになっていく児童もいます。

本年度の学校経営方針は「探究心をもち、目標に向かってチャレンジできる子どもを育成する学校づくり」です。この方針の達成に向けて組織目標として「自ら学び、他者と対話し他者を認め、考えを深めることができる児童の育成」としました。具体的な施策として、3点を挙げています。本年度は、市の研究指定校となっているため、学園の研修と校内研修を充実させるために、学園の研究テーマに沿いまして、市の方針と市の目標さらに教育活動全体をとおして「深め合う」「認め合う」「鍛え合う」「信頼される学校」「地域と共にある学校」に書かれていることを実行していきます。特に、「地域と共にある学校」においては、地域の皆様の協力を得ながら推進していく上で、コミュニティ・スクールをはじめ、外部人材の活用ということでおやじの会の御協力を得ながら進めているところです。その他、関係機関との連携ということで外部人材、たとえば「つくば科学出前レクチャー」などを積極的に行いながら、地域と共にある学校を推進できればと考えています。

栗原小学校（関校長）：栗原小学校グランドデザインの説明

学校教育目標は、「夢に向かって挑戦し、主体的・自律的に学ぶ栗原っ子の育

成」を掲げています。具体的方策として、下段に示していますが、それらの方策の実践を通して「非認知能力の醸成」にも重きを置きながら、子どもたちへの働きかけ、支援をしているところです。子どもたちの幸せのために、教職員が全力を尽くすのはもちろんですが、教職員の幸せを守ることも大切なことだと考えているので、学校の働き方改革も地域の皆様や保護者の皆様にも御協力いただけましたら幸いです。保護者や地域の皆様のお力を賜りながら、子どもたちのよりよい未来のために学教教育活動を展開してまいりたいので、どうぞよろしくお願いいたします。

桜中学校(小林校長)：桜中学校グランドデザインの説明

本年度の組織目標は、「生徒が自分の成長を実感できる授業」と「一人一人を認め、お互いが成長できる学級」の2つを掲げています。桜中学校は、正直なところを言いますと課題が見えるところがあり、そこに挑戦していきたいと思っています。先ほどから働き方改革も話題に上がっていますが、本校では2つのことに重点を置いています。何かというと最も基本的なところに立ち返って「積極的な生徒指導を行う」、何か起きてから対応するのではなく、何か起きる前に関係づくりに重点を置き、起きないための方策を尽くしていきます。そして、教師側が「授業力の向上」を図るという2つのことが実践できれば、自ずと働き方改革につながると職員には伝えていきます。

今年度は一步でも桜中の生徒たち自身が「前よりよくなったんじゃない」と思えるような取組をしていきたい考え、「夢・感動・創造への挑戦 桜中 前へ」というスローガンを立てました。子どもたちを幸せにするためには、教職員も幸せでなくてはいけないと思っています。そのために、学校経営のキーワード、これを職員に意識させながら一年間送らせたいなという思いで作っているところです。「一人一人生徒の目線で気付き」「生徒の思いを考え」「生徒のために実行する」合わせて「思いや願いに沿って目を動かし」「生徒の心で親の心で心を動かす」「教師の心で具体的に体を動かす」をなんとなく自然にできるような形でもっていけたら良いなと思いつつ一年間やっていきたいと思っています。

(質疑応答)

(橋本幸雄委員)：桜中学校のグランドデザインからは小中連携の記載がなく、小中間のすり合わせはできているのだろうか。

(桜中 小林校長)：小中連携については、小中一貫教育を行ってきているので、すでにベースにあるものだと考えています。教職員も3部会に分かれ、連絡を取り合い活動しているので、もうすでにベースにあります。校長会も、今年度は月1回は集まることになり、より連携を深めています。コミュニティ・スクールも始まり、小中連携のベースのもとに作成したが、文言としてないと寂しいかなと今は感じています。

(橋本幸雄委員)：栗原小学校では、「非認知能力の醸成」とあったが、小学校以上では「認知能力」が大切だと思いますが、どうお考えなのでしょうか。

(栗原小 関校長)：これまでの学校教育はどちらかというと「認知能力」の方に重きが置かれていました。だからといって「非認知能力」が急に出てきたのではなく、これまでの学校教育でも先生方が意識するしないにかかわらず働きかけてきました。時代の流れとして「非認知能力」が言われるようになってきましたが、先生方にはこれまでやってきたようなことを意識して進めてほしいと話をしています。幼稚園や保育園の育て方を見ていると、「非認知能力」を伸ばす働きかけをしている。その力を小学校でもさらに伸ばしていくことが大切だと捉えています。

(橋本幸雄委員)：いじめによる「不登校」「行きしぶり」が全国的な問題になっています。原因の追及、話し合いなどはどうなっているだろうか。

(栄小 三輪校長)：「不登校」や「登校しぶり」はどこにでもいます。理由は難しく、今は親が子離れできないことも非常に大きな要因になっています。教員だけでは対応できないので、外部の力も借りて対応しています。例えば、市で整備してくださっているスクールカウンセラーであったりスクールソーシャルワーカーであったり、今年度は市内すべての学校で開設している校内フリースクールであったり、専門の人たちの力をお借りしながら、親・子どもを少しずつあせらずに変えていくことが、不登校の解消につながっていくのではないかと考えています。いじめに関しては、永遠の課題というか、生物である以上いじめについては、難しい問題ではあるが、学校としては楽しく登校してもらえることが一番なので、早期発見・早期対応のためにアンケートをとったり、子どもたちとの個別面談を通して関係を密にしたりすることで、素早く情報を察知することでやっています。一担任では難しいので、今はチームということで学年や学校全体で取り組むことで少しでも迅速で適切な対応ができるようにやっています。

(水谷浩子委員)：文部科学省では、いじめ問題の解決の一つとして「スクールロイヤー」の活用も進めていると聞いたのですが、法的にいじめと分かっていることを子どもたちにきちんと伝えていくことも大事だと考えます。つくば市ではどのようにお考えですか。

(事務局 久保田次長)：これまでも法務監がいましたが、政策立案の助言が中心でした。今年度の予算でスクールロイヤー2名がついています。学校が気軽に相談できる体制が今後できてきます。学校に今後詳細についてお知らせできると思います。

久松副会長：先生方御説明ありがとうございました。先ほど教育局から説明がありましたように、コミュニティ・スクール協議会の機能の一つに、「校長が作成する学校運営の基本方針の承認」があります。委員の皆様にご協力をお願いしたいと思います。令和6年度学園・各校のグランドデザインを御承認いただける方は拍手をお願いいたします。

参加委員：(拍手)

久松副会長：ありがとうございました。校長先生方におかれましては、本内容にて学校運営をお願いいたします。

(2) 熟議

久松副会長：続いて、熟議に移りたいと思います。ファシリテーターを栗原小学校の佐伯教頭先生にお願いして、よろしいでしょうか。

佐伯教頭：（承認）

久松副会長：お引き受けくださりありがとうございます。では、先生よろしくお願いたします。

佐伯教頭：熟議のテーマですが、「桜学園として地域とともに児童生徒に身に付けさせたい力は」というところで話し合いをしていただきます。テーブルに大きい紙があるので、目指す生徒像をもとに、現在の桜学園の児童生徒の様子を考え付箋に書いて、貼っていきます。それが終わりましたら、それらをもとにして児童生徒にこんな力を身に付けさせたいなというものを付箋に書いて、貼っていきます。その後、テーブルごとに出た内容について、全体で共有する形で進めていきます。

・各グループでの熟議20分間

佐伯教頭：熱心な御協議ありがとうございました。それでは、各グループで協議されたことの発表をお願いいたします。

①A（栄小）グループ

今の子どもたちはそもそも地域のことを知らない。自然や歴史について知らない人が多いので、地域のことを知る機会を増やしたい。

あいさつなど基本的なことができなくなっている。地域としても学校としても基本的なことができるようになってほしいということが願いではないか。

②B（九重小）グループ

夜遅く寝て、朝起きられず時間が守れていない。起きるのが遅いので朝は元気がなく、あいさつもできていない。人間性の向上、自己管理、早く寝て早く起きる、あいさつをきちんとするなど身に付けてほしい。

コミュニケーション能力を身に付け、自分のよさに気付き、我々もよさを認め、さらに伸ばしていくことを実践していく。

チャレンジする気持ちはあると思う。職業などの専門的な知識を学べる場は増えると思う。地域にスポーツ少年団などがあるので、そのようなところも含めて不足しているコミュニケーションを学んだり、チームでやるスポーツの指導をしているが自己優先的な生徒が多いので、協調性を育てたりしていきたい。

中学生については自転車の乗り方がまずかったり、小学生については話に夢中になり横に広がったりと、何が危険でまずいのかを学ぶ場、社会性をもたせる場があれば良い。

③C（栗原小）グループ

地域とのつながりが弱い、普通にあいさつをしても返ってこないという話が出た。ただ黄色い旗を持っている方にはすぐに声をかけたり、家の中から声をかけると返してくれたり犬の散歩中だと声をかけてくれるのは、子どもたちが安全を理解しているのではないか。そこからもっと危機管理が足りてないの

ではないかという話になりました。雨の日に自分で学校へ行く生徒が少ないのではないか、すぐ送迎をしてもらってしまうので、どこが危険でどこまでやると転ぶのか分かってないのではないか、だから危機管理能力を身に付けさせなくてはならないのではないか。

地域に開かれた学校がうたわれているが、みんなと仲良く、ボランティア協力する機会や参加する子どもが減っているのではないか。

子どもたちの未来を応援できるようなコミュニティ・スクール協議会にしていきたい。

④D（桜中）グループ

小学校区単位での子どもたちの仲が良く、それを越えた関りが少ない。親世代の話になるが、自治体や子ども会に入っていないので、子どもたちも地域に関わることに對して、あまり重要視していない。なので、隣のおじさんとすれ違ってもあいさつしない。お囃子などの活動をされているところもあるが、披露する機会がコロナを経て減ってしまっている。自己肯定感もだんだん失われてきていてそういう体験がなくなってきた。

つくばという地域がら、研究所や大学などいろいろあり、子どもたちがどちらかという夢を大きくもちすぎていて、地域に活躍できる人ではなくて、世界へというような夢をもっている。

それらを踏まえて、地域で成功体験などを得られる機会をつくってあげ、まず地域を知る力、地域を愛する力、それぞれの学校を愛するような自校愛などを育んでもらいたい。

久松副会長：発表者の皆さん、ファシリテーターの佐伯教頭先生ありがとうございました。

(3) その他

次回のコミュニティ・スクール協議会は令和6年7月16日(火)9時30分から、会場は栄小学校を予定しています。第3回は令和6年11月27日(水)9時30分から九重小学校、第4回は令和7年2月10日(月)9時30分から栗原小学校で予定しています。

それでは、進行を事務局へお返しいたします。皆様、スムーズな運営に御協力いただきありがとうございました。

参加委員：（拍手）

7 閉会

事務局：久松副会長、協議進行、ありがとうございました。本日の協議の内容は以上となります。

なお、皆様の机上に「つくば市コミュニティ・スクールガイドライン」を配布しております。こちらは、市の教育委員からの提案がありお配りしているものです。委員の皆様は年度当初及び年度末にチェック項目を確認していただき該当箇所にチェックをお願いいたします。必ずこうしなければならない、この通

りにしなければならぬ、という性格のものではなく、あくまでポイントとなる部分を確認していただくものです。また、市や学校にご提出いただくものではありません。各自でお持ちいただければ幸いです。また、本日の会議の様子を、つくば市教育委員会ホームページにて写真を掲載させていただきたいと思っております。委員の皆様、よろしいでしょうか。

以上をもちまして、令和6年度 第1回桜学園コミュニティ・スクール協議会を閉会いたします。本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございました。今後とも、どうぞよろしくお願いたします。